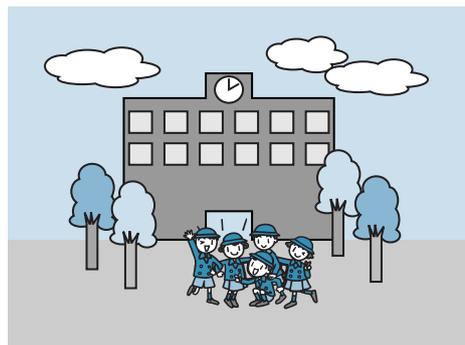


# 一般質問…ここが論点

12月定例会

12月定例会中、12月6日、7日、8日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録（3月上旬発行予定）を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム（3月上旬掲載予定）をご覧ください。



来本健作（未来の会）

スポーツの推進と施設の整備拡充を

**問** 体育施設の現状と今後の整備計画及びスポーツ推進施策について伺う。

**答** 老朽化が進行している施設が多く、財政的にも厳しいが、優先順位をつけて整備していきたい。

少子化対策について

**問** 少子化対策として出産・入学祝金、文具券支給制度や医療費無料年齢

の引き上げ、妊産婦健診制度の無料化等を実施する考えはないか。

**答** 一時的な金銭支給より子育てに伴う精神的、肉体的な負担を軽減する支援策を中心に対処したい。

その他の質問

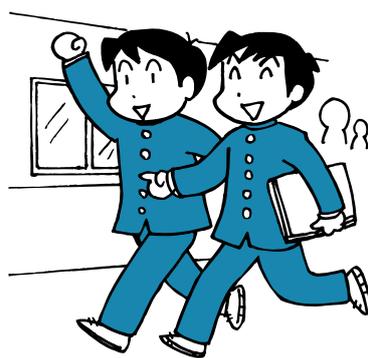
1 新たな観光戦略

松本昌成（公明党）

蒲郡市における「いじめ対策」は

**問** 深刻な社会問題となっている「いじめ問題」の本市における実態、認識及び対応について伺う。

**答** いじめの件数は、最近の調査では小学校49件、中学校9件を指導中である。いじめは、どの学校でもどの子にも起こることと認識し、児童生徒の発する危険信号を見逃さないため、日頃の実態把握と相談活動を充実させ、早期発見・早期対応に努めている。いじめられた生徒の立場に立った対応を基本として



おり、校内の対策体制の整備、確立を行い、保護者・教育委員会・地域・関係機関との連携を図りながら対処したい。また、教員の研修等による資質向上に努めることにより、いじめの撲滅に取り組みたい。

喚田孝博（新政クラブ）

新年度予算編成について

**問** 厳しい財政状況が続く中で、平成19年度の予算編成方針と重点施策は何を予定しているか。また、歳入見込みと他会計への繰出金の状況について伺う。

**答** 新年度予算の編成にあたって、各部に対し枠配分予算を実施しており、創意工夫を凝らした編成を進めている。重点施策は、幹線道路及び蒲郡駅周辺の整備促進、新消防庁舎建設準備等を考えている。

三位一体改革による税源移譲が十分にされず、市税の大幅な増収が見込めないため、歳入不足は財政調整基金の取崩しを行うこととなり、基金はほぼ底をつく状態となる。一般会計にポルト会計から10億円の繰入れがあるが、病院・国保等他会計へ26億円を超える繰出しが必要となる。

日恵野佳代（日本共産党）

子どもの医療費無料制度の拡大を

**問** 県下で最低クラスの無料年齢を段階的に引き上げ、小学校にまで拡大するよう求める。

**答** 無料年齢を1歳引き上げると年間約3千万円の支出増加となり、現在の厳しい財政状況では難しい。